

# CHALLENGE NEWS

# チャレンジニュース!!

知的障害者入所更生施設

多機能型福祉サービス事業所

一発行  
社会福祉法人 明徳会  
〒861-5503  
熊本市明徳町707-1  
TEL(096)215-9101  
FAX(096)245-2344



## チャレンジめいとくの里

●ご利用者が  
選択するツアー！  
いつもの活動グループや、強制的に班分けされて旅行に行くのではなく、年度初めに企画された六種類のツアーから、ご利用者様自ら行きたい旅行を選択していただきます。ご利用者様本位のサ



## サポートセンター めい

●ご利用者が  
選択するツアー！  
私も、個人的には「夜の街に繰り出してカラオケでも行こう企画」がとってもヒットでした。写真を見るとみんなとっても楽しそうで、若い人の普段の夜遊びの光景で、とても自然な感じを受けたからです。障がいがあるとか関係なく、楽しい時間が写真に写っていました。今思うだけでやつてよかったと心から感動し

●ハピスマレンタルショップ  
この十月より開始した、新サービスはレンタルショップ。これもミューを払い利用します。例えばDVDプレーヤー、DVDソフト、漫画本、ゲームプレーヤー、CD、がまず始めに揃えられました。スタッフを持ち寄りたりして少しずつ品数を増やし、ゆくゆくはレンタルショップルームを設置できればと考えています。



カラオケ中

●MEICRAFT  
めいとくの里オリジナルブランドのマイクラフトは、より一層パワーアップしています。めいとくフェスタでは、たくさん販売しますので是非遊びに来て下さいね。新作のTシャツやバッグも限定発売の予定です。



TAO カフェ来ました

●TAOカフェさんの移動販売  
九月より植木にあるおしゃれなカフェ、TAOカフェさんが移動販売車で来園され、コーヒーやカフェオレなどを販売していただいています。お店の方もとても積極的に、別の日にボランティアで参加し交流を深めていただき、ご利用者様も普段なかなかおしゃべりなカフェには行けないけど、お店の雰囲気や注文してお店の方とのやり取りも楽しまれました。

## 「おもしろい、たのしい」の実現のために 理事長：樺嶋潤一郎

平成二十二年度も、もう半分過ぎました。今年度のめいとくの里のスローガンは「おもしろくて たのしい めいとくの里をつくろう！」で、スタートして半年。その効果や結果はまだ分かりませんが、この半年取り組んだことをご紹介します。●ハピスマイル部設置  
目標達成は、組織づくりからと言うことで「おもしろくて たのしい・・・」を現実のものにすべく切り込み部隊としてハピスマイル部を創設しました。もともと、おもしろいとくが大好きなスタッフは、はじめは大役に戸惑いながらも方向性を全職員に示しながら徐々にカタチにしてくれています。

「ビスを考える」と言うめいとくの里のポリシーを忠実に実行しましたが、あまりにも忠実すぎて、家族の意向をお伺いするのがおそろしくお叱りを受けたところもありました。今月の記事にもあるように九月には、総勢二十八名での東京デザインランドにも行ってきました。

●スタークラブの選択活動  
やってみたくて思ってた参加することこそ、おもしろいの原点ということで色々な企画にチャレンジしました。わらび狩り、美術館見学、温泉みたいな？入浴、さをり織、音楽療法、パソコン教室、演劇鑑賞、などなど。

●施設通貨「ム(マナー)」の導入  
めいとくの里専用通貨「ム」を試験導入しました。めいとくの里の中でだけ使用できるお金ですが、徐々にその魅力をご利用者様も感じてきています。お金の稼ぎ方↓グループ活動などで自分の目標を達成した時や、農作業などの農繁期などお手伝いを希望して参加された場合など。



【次回のお知らせ】  
とき：十二月十八日(土)  
じかん：十時～十一時半  
ばしょ：めいとくの里正門前  
先日めいとくの里正門前にて、本年度二回目のエコ活動を実施しました。小雨の降る中、ご協力いただきました皆さま大変お世話になりました。またのご協力よろしくお願ひします。

## めいとくエコ活動

(廃品回収)



●ゴミ袋販売  
昨年の十月から熊本市ではゴミ袋有料になり、当施設でもゴミ袋の販売を行っています。お気軽にご利用ください。  
【販売時間】  
月～土曜日の九時～十七時  
【販売場所】  
チャレンジめいとくの里 事務室  
(正面玄関から入り、右側にあります)  
※当施設の都合により、日曜日は販売しておりません。申し訳ありません。



ありがとうございます  
ごみます☆



【寄贈】  
トイレットペーパー お菓子 お盆  
はすいも ミカン 饅頭  
【ボランティア】  
魚谷さん

ありがとうございます

## 11・12月行事予定

- 11/ 6日(土)：第6回めいとくフェスタ  
11日(木)：熊本市指導監査  
15日～30日：個別支援検討会  
18日(木)：インフルエンザ 予防接種  
23日(火)：避難訓練  
12/24日(金)：クリスマス忘年会

## DISCOボランティア



当施設では毎月第一金曜日の19:30～ディスコを行っています。毎回多くのボランティアの皆さんに参加して頂いています。ご利用者様はボランティアの方が来られるのを楽しみに待ってられます！是非ディスコに遊びに来て下さい☆心からお待ちしております。

●活動ボランティア  
日中活動をサポートしていただける方  
●フリーバーボランティア  
ディスコやイベントなどとにかくご利用者様と一緒に盛り上がりたてたい方、その他ボランティア大歓迎です。興味のある方、参加してみたい方は左記の連絡先まで気軽にお問い合わせください。  
明徳会では様々な場面でボランティアを募集しています。  
TEL:096-215-9101  
MAIL:meitokunosato@yahoo.co.jp  
担当 中田 今井

## ボランティア募集

# 福祉とのきつかけ」職員奮闘記



生活支援員  
森塚 美里  
●所属:わかばグループ  
●勤続:2年目

## 「福祉を志すきっかけ」

入社して二年目、わかばグループ所属だいま奮闘中の森塚です。  
私が福祉に興味を持ち始めたのは、小学校低学年の時に見た「ピュア」というドラマがきっかけでした。  
主人公の女性が知的障がい者役を演じており、そのときに初めて知的障がい者という方々の存在を知りました。

同時期に小学校近くの知的障がい者施設の方々と交流会が行われており、頻繁に接する機会が増えていきました。高校生となり友人から知的障がい児の事前支援のボランティアの誘いを受け、即承諾してボランティアを三月月ほど続けていました。

そして進路について考える時期になり、小学校から高校生の中で共通して心に残ったことは何だろうか?と考えた時、知的障がいを持つ方々との交流が楽しかったことを覚えており、その方たちの施設で働いてみたいと思いが福祉という道を志しました。

## 「めいじに入社するまで」

その後、福祉専門の大学に進学し、福祉の専門分野を学び実習を重ねてきました。

実習先は身体障がい者授産施設・知的障がい者入所更生施設・知的障がい者通所施設に行かせて頂き、学んだことを実践できたらと思っていました。しかし、最初からうまくは行かず食事介助や排泄介助など初めてのことでとても悩んだことを覚えています。

様々な実習の中で、一番思い出に残っていることがあります。  
それは、知的障がい者通所更生施設で実習をさせて頂いたときに、なかなか自分からコミュニケーションがとれなかった私に職員の方が「自分から歩み寄ることが大事だよ」と優しく声をかけてくださった時、色々な方にコミュニケーションを取るなかで気になる方がいました。  
ご利用者様Aさんは、人と接することが苦手な方で、いつも一人外で作業をされており、話しかけてもその場を離れてしまいコミュニケーションがなかなか取れないでいました。



昼食は十分ほどで済ませてお昼休みは外に行き、近くの公園を掃き掃除されていたので、職員の方に「お昼休みはその方と過ごさせて下さい」と懇願し、一緒に過ごす時間を増やしていききました。

最初は私が近寄ると離れてしまい声もかけられませんでした。無理に声かけしてもAさんが嫌がるのが分かり、まずは遠くの方でも掃き掃除を行なっていききました。日に日に近づいていき、声が聞こえる距離になり声をかけていきました。返答はありませんでしたが、私が近くにも離れる事はなくなりました。最終的には、私が塵取りを持ちAさんが掃いて集めたものを塵取りに入れたことまで出来るようになり、時間がかかった分とても嬉しかったです。時間を惜しまずその人との時間を大切にすることをその時学びました。

一緒に時間を共有できることが嬉しくもつとAさんを知りたい、その他の利用者の方々一人ひとりと接していきたいと感じ、知的障がい者施設で働きたい気持ちが強くなりました。

実習が終了し、その後も他の施設でボランティアやアルバイトをさせて頂いたとき、経験を重ねていきました。  
大学4年になり就職の時期になった時に先生から「めいとく」の里を勧められ、



施設説明会に行かせて頂きました。めいとくに入った時に職員の方、ご利用者様皆さんが笑顔で挨拶をして下さり、とても明るく皆さんが笑顔で過ごしているこの場所「働きたい!」と心に決めました。その後面接を受け採用して頂き、めいとくでの生活が始まりました。

## 「めいじ」

### 「始まりから今まで」

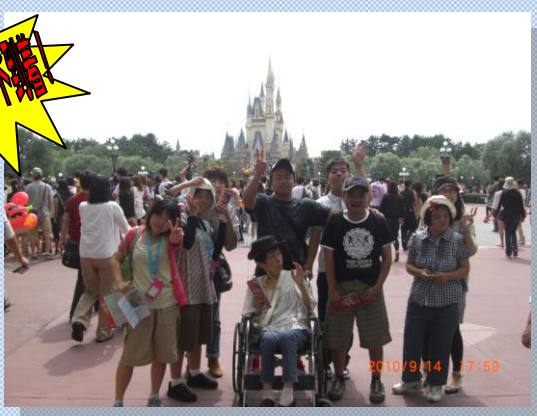
入社当初、最初は何かから始めればよいか分からず、まずは実習で学んだコミュニケーションを図っていききました。  
名前だけでも覚えてもらいたく自己紹介から始めていき、今ではほとんどの方から名前を言っていたりありがたく思っています。

担当のご利用者様の方も受け持たせて頂き、ご家族の方々からも温かく見守って頂いています。めいとくの先輩方からは支援に困った時やどんな状況においても的確なアドバイスをいただき、色々協力してくださいました。

入社して一年半、まだまだ半人前ですがご家族の方々、先輩方、そしてご利用者様方からの支えがあつて、私は成長できていると感じます。これからも支えてもらえるがらですが一人前の支援員になれるよう初心を振り返り、常に学ぶ姿勢でこれからも奮闘していききたいと思えます。



# 丸の内線 東京旅行



九月十四日から十六日までの二泊三日の日程で、ご利用者様十八名と職員十名の合計二十八名で、「都内観光と東京デイズニールランド二泊三日の旅」と繰り出しました。熊本と東京の往復は航空機を利用するというビッグプロジェクト。みんなのはやる気持ちで一層の重みを増したJAL1808便は、一路東京の空の玄関口羽田空港を目指します。そこから都内を貸切バスで回るので、最初の観光地東京タワー近くのホテルで同じ日に民主党の代表選挙が行われて周辺はものすごい警備でそれにビックリでした。その後、タワーからの眺めを満喫し、NHKスタジオパークでキャスター体験をして大いに盛り上がった後、車内から国会議事堂、皇居、「東京の新名所」スカイツリーを見学し、ホテルへと腰を落ち着けます。

そこはまさに夢の国、賑やかで楽しい音楽が溢れ、弾けんばかりの歓声を上げる観客で一杯です。私たちも乗り遅れまいと、様々なアトラクションで目一杯遊びました。絶叫マシンで悲鳴を上げ、ゆったりと動く蒸気船で遊覧し、元気いっぱいキャラクターたちに囲まれて皆さんまさに至福の時。時間一杯まで悔いの残らぬよう遊び疲れた一行は、東京との別れを名残惜しそうにしながら無事に熊本へ帰ってきました。熊本到着後の第一声は、「やはり熊本がいいね。」旅とは、故郷の良さを感じるためにあるのかもしれない。(田尻佳)

